

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>クブレミドロ監視地点ではst.1で1回(21回測定中)、監視基準(SS=7mg/L)を超過した。 クブレミドロ監視地点での最大値は8月28日のst.1で7.5mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は8月12日のst.4で10.7mg/Lであった。 基準超過時は、人工島北側(st.1～4周辺及びst.12周辺)に、調査前3日間に50mm以上の降雨による陸域から流出した土砂や濁水が流入し潮汐や風浪による巻き上げと考えられる白濁した濁りが確認された。</p>		<p>今月の県施工工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、汚濁防止膜(設置、撤去)、鋼矢板打設、床掘り等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工工事は、護岸工事及び橋梁撤去工事で、防砂シート敷設、汚濁防止膜(設置、撤去)、裏込め裏埋工、基礎工、法留め工、灯浮標設置、構造物撤去工、仮設橋梁撤去工、上部工、探査工等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>	
水質調査結果	詳細結果	<p>クブレミドロ監視地点 基準値【st.1～3: SS=7mg/L】</p> <p>st.1は8/28において、監視基準(SS=7mg/L)を超過した 平均値は4.4mg/L、1.2～7.5mg/Lの範囲で推移していた。</p>		
	工事の濁り監視地点 基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	<p>全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は2.1mg/L、0.3～10.7mg/Lの範囲で推移していた。</p>		
	流入部負荷量の調査地点	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=16回(24計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(24計測中) 平均値は14.7mg/L、3.8～36.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>		
	流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	<p>8/26の36.8mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日181.0mm、前日0.5mm、当日78.0mmであり、降雨による濁水流入もみられた</p>		
基準超過時の気象概況	<p>・8月28日は、風向はSW、風力は1～2、波高は0～0.2m程度であった。降雨は調査前3日間で79mm、当日が0mmであった。</p>		<p>【調査位置図】</p> 	
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時は、護岸工事及び橋梁撤去工事において裏込め裏埋工、探査工、県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備工事及び仮設橋整備工事において、汚濁防止膜撤去、鋼矢板打設が行われていた。</p>			

第5回(8月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和2年8月1日～令和2年8月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は8月12日(PM)のst.5で観測された17mg/Lであった。 工事の濁り監視地点では、st.5で5回(37測定中)、監視基準(SS=11mg/L)を超過した。 基準値超過時は、人工島北側浅海域(st.1～st.3周辺及びst.5周辺)において、水色が緑白色の濁りが広がっているのが確認された。</p>			
	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>8/8 st.5(PM 下げ潮-干潮-上げ潮時),8/12 st.5(PM 下げ潮時),8/13 st.5(AM 上げ潮時),8/14 st.5(AM 上げ潮時),8/15 st.5(AM 下げ潮-干潮-上げ潮時)で工事監視基準値を超過した。 平均値は4.1mg/L、<1.0～17mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>8月8日、12日、13日、14日、15日は、St5において工事監視基準を超過していた。 8月8日、12日、13日、14日、15日は、橋梁工事は行われていた。 8月12日は、工事施工箇所およびその周辺のSS値はst.5よりも低かったため、工事との関連性はないと考えられた。 8月8日、13日、14日、15日は、工事施工箇所およびその周辺は低潮位により干出していたため工事との関連性はないと考えられた。潮流による底質の巻き上げや水色が緑白色を呈し、水温が30℃を超えて高かったことからプランクトン等の増殖が推測され、複合的な要因の影響等が考えられた。</p>	
	<p>詳細結果 流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=48計測中46回 st.15=48計測中41回 SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=48計測中4回 st.15=48計測中0回</p>	<p>特になし</p>	
	<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 8/20 (PM 上げ潮時)65mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。 st.15: 8/26 (PM 下げ潮時)38mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が181.0mm、前日が0.5mm、当日が78.0mmであった。降雨による濁水流入は見られた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月8日(PM)は、風向が南南東、風力が3、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0mm、当日が0mmであった。 ・8月12日(PM)は、風向が南南東、風力が2、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前30mm、1日前3.5mm、当日が0mmであった。 ・8月13日(AM)は、風向が東北東、風力が3、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0mm、当日が0mmであった。 ・8月14日(AM)は、風向が南東、風力が2、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0mm、当日が0mmであった。 ・8月15日(AM)は、風向が南、風力が2、波高が0.1m程度であった。降雨は調査2日前0mm、1日前0mm、当日が0mmであった。 		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月8日(PM)は、県道20号線の橋梁整備工事において鋼矢板打設工事が行われていた。 ・8月12日(PM)は、県道20号線の橋梁整備工事において鋼矢板打設工事、仮設橋梁において上部工が行われていた。 ・8月13日(AM)は、県道20号線の橋梁整備工事において資材搬入、仮設橋梁において上部工が行われていた。 ・8月14日(AM)は、県道20号線の橋梁整備工事において鋼矢板打設、仮設橋梁においてH鋼引抜きが行われていた。 ・8月15日(AM)は、県道20号線の橋梁整備工事において鋼矢板打設工事が行われていた。 			

